

「第2回 シンポジウム 関西のインフラ強化を進めるために －日本のリーディングエリアとするために－」

開催報告

(一社)近畿建設協会

関西を日本のリーディングエリアとしていくために、必要なインフラ整備や仕組み等について、産官学の多くの有識者で方向性を議論し、実現に向けた構想などをとりまとめて広く広報していくため、平成29年4月に「関西のインフラ強化を進める会」を発足させました。この度、第2回シンポジウムを10月26日に開催しましたので、その報告をします。

- ①実施日時：平成29年10月26日（木）13:45～15:20
- ②会場：マイドームおおさか 建設技術展会場
- ③出席者：300名以上
- ④主催：関西のインフラ強化を進める会

今回はパネルディスカッションのテーマとして、「ゲートウェイ機能の強化、ネットワーク整備」と題して各パネラーから瀬戸内地域循環交通ネットワークの提案やミッシングリンクの解消、大阪万博、IRと関西の活性化、スーパー・メガリージョンの西の核としての役割などについて意見交換がされました。

プログラム

13:45～14:00	開会挨拶 池田豊人氏（近畿地方整備局長）
14:00～15:20	パネルディスカッション 「ゲートウェイ機能の強化、ネットワーク整備について」 コーディネーター 小林潔司氏（京都大学経営管理大学院 教授） パネラー 小嶋淳司氏（がんこフードサービス(株) 会長） 齋藤峻彦氏（近畿大学 名誉教授） 狭間恵三子氏（堺市 副市長） 藤本貴也氏（JAPIC国土・未来プロジェクト研究会 委員長）

次回、委員会を下記のとおり予定しています。

第3回委員会

日時：平成29年12月12日（火）18:00～
会場：プリムローズ大阪 2階 鳳凰（東）
基調説明：阪急阪神ホールディングス(株) 代表取締役 角和夫氏



開会挨拶

(池田整備局長)
インバウンドの急増に後押しされ、関西に良い流れが出てきた。それを活かすためにはルックウエスト、関西が西日本の拠点になるとともにアジアに目を向けることが大事。2つ目は今後も急増するインバウンドを上手く取り込むためにはポテンシャルのある関西の空港を最大限に活かすため、アクセスの改善がポイントである。



小林氏



パネラー